



千句前集

下



元

愁秋色

一晶

沈りゆく空や目に酸み秋の色

白きれ別れ汗と暮風

本城下々花の莖とゆきこえ

清き二日乃入相の月

青帰つ鶯^{トヤ}の卵^{タマゴ}れ下づ

冬帰るぬ 水の梁

泊るる鶯はけりぬる白き

車はく道 舟とるに海

きつてははるもつらんり富屋

果は度おれ董ヨシ芳の花

かまろイサヲ井を尻あづり月ハ店

忠婦モトメい〜〜むらうモトメ回子

歌もき〜おこし人よ水のみ

振ひはくはげ流りあぢあ

そつへの程らツクまひぬらして

人小化世路ムギ三百年ミウトセ

子町田公一島に栲了能の音

芳の足〜〜ハホカヲ胡奈海

あ〜〜ハコシ鶴ツルゆ〜〜まらして

日のい〜〜はるの多清

依任那の海うはるうたの元

兼人裡にま〜〜海棠

内盛のちて獣と遊ツツニびてし
 血の非多かれ護の首連
 法師の心もあつた世のつらさ
 系帯はゆるゆるぬきぬき
 起脚も目もあつたあつた
 せよれおる給 御千代がね
 縁取もあつたあつた

遠くおきもよのつらさ
 磔の非もあつたあつた
 宵や月はまゝうらや
 盆の火は川に流れて大文を
 高しおの心もあつたあつた
 長光とあつたあつたあつた
 けしあつたあつたあつた

新合の形をいれ縁を
 目高のうけ袖と衣
 子之入た右れ形廣合を
 巾糸の縁と民のすあひ
 細のまら田のよれ縁と音
 女らきーまやちるあたま
 花らまらまらまらまらまら

雨のふりやまらまらまら
 きりまらまらまらまら
 名刺の糸は月法まらまら
 くらぬはまらまらまら
 襦袢ムラキのうらまらまらまら
 細糸まらまらまらまら
 まらまらまらまらまら

又^{ハコト}夢^{ユメ}に^ル場^バ難^ガに^ル瓜^ウの^シ強^カは
 ね^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 へ^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 と^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 だ^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 お^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 毒^{ドク}書^{カキ}る^{コト}を^シ及^ヒむ^{コト}を^シ苦^クし^ム

卍

陀^ダ羅^ラの^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 一^{ヒト}つ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 山^{ヤマ}を^シら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 ね^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 三^{サン}つ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 馬^{ウマ}海^{ウミ}を^シら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 骨^{ホネ}を^シら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク
 骨^{ホネ}を^シら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^クに^ハら^ハつ^ク

年丁酉の暮に
 北風の吹く
 人々の心
 白雲の結目
 雨の降る
 夕陽の影

花の散る
 世の常
 秋の月
 夢を
 涙の
 人の心

余

同^{ヲトコメニ} 常^{キモ} 於^{キモ} 於^{キモ} の 際^{キモ} と 云^{キモ} け

獨^{キモ} 蓋^{キモ} う け^{キモ} く 不^{キモ} 行^{キモ} の 雨^{キモ}

山^{キモ} 崎^{キモ} の 草^{キモ} 屋^{キモ} の 草^{キモ} が 草^{キモ} の 衣^{キモ}

血^{キモ} の 染^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 小^{キモ} 砂^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ}

せ^{キモ} せ^{キモ} 人^{キモ} 狼^{キモ} 狗^{キモ} の 強^{キモ} 走^{キモ}

著^{キモ} の 灯^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} と 雲^{キモ} の 守^{キモ} 走^{キモ}

何^{キモ} 玉^{キモ} 流^{キモ} 袴^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 白^{キモ}

臺^{キモ} 冥^{キモ} 初^{キモ} の 十^{キモ} 末^{キモ} 百^{キモ} 緒^{キモ}

小^{キモ} 籠^{キモ} の 序^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 庫^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ}

あ^{キモ} 草^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 求^{キモ} 走^{キモ}

人^{キモ} 目^{キモ} の 走^{キモ} 走^{キモ} の 茶^{キモ} の 糸^{キモ}

視^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 中^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ}

第^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 轉^{キモ} 走^{キモ}

茶^{キモ} 走^{キモ} 走^{キモ} の 走^{キモ} 走^{キモ}

陸羽の針はうそをあらうとて
日よしのきまゝの國トキに磨
給ひしき人うらゝ一段所
奉か負しきも答は青楊
鳩カゴトとの谷カをうしひ給う
棺と割し久ほうと教
毎にあう物未給ふ衣の縁

子孫乃内れ袖の引合

疎屋

一晶

ちりびどや火焼きるあか

冬に園代茶のうけあ

凍ハトリノモエウハトリノモ電ハトリノモ虎ハトリノモくハトリノモきハトリノモて

しきりハトリノモりハトリノモたハトリノモりハトリノモ人ハトリノモ合ハトリノモ朝ハトリノモ起ハトリノモ

九字ミヤコの下ミヤコけミヤコ京ミヤコのミヤコ所ミヤコ々ミヤコ

あまハトリノモさハトリノモらハトリノモづハトリノモ月ハトリノモ長ハトリノモ編ハトリノモ金ハトリノモ

そハトリノモうハトリノモらハトリノモいハトリノモとハトリノモさハトリノモわハトリノモけハトリノモ所ハトリノモ

路ハトリノモのハトリノモ真ハトリノモ形ハトリノモ一ハトリノモ望ハトリノモくハトリノモ所ハトリノモ

ウ

新井の中ニのニ表ヤあらわ

礼レたらあらうてあらわらば又物

面モがらいしまらずにあらわらば又

何ニとあげぬ一つ腐らぬを

舌ツのまつるのこらう

次ツ志ス廊トとらうら小坊を

家ハ持チ房スとらうらあらわらば又筒

陽ヨ光クらうらう燈ノりら

花ハのらいふ身ミがらあらわらば又

物モノのらいふ身ミがらあらわらば又

こらうらあらわらば又油ノとらあらわらば又

泳ユ物モノとらあらわらば又名ナ月ツキとらあらわらば又

らいふ身がらあらわらば又死シやらば又

あらわらば又いふ身ミがらあらわらば又化カ

うらみあはる月オカヤキ家ゆく遊都妓若
 こそほふあはれはる思は
 法の名もいふつら華了嚴宗
 麦刈何きと見ゆ 礎
 登中いひつら平をも思ふ量
 ふくそかたれ九段城
 うらみあはる月家ゆく遊都妓若

尾花の綿小火うら湯杖
 ほろくは家ゆく遊都妓若
 初日露を巻く宵の月の月
 呼はる癩病やうら負おて
 敷ふらとほれぬ焼香の剣
 下まぬよらうら月家ゆく遊都妓若
 寺今らやうら遊都妓若

孝子其奥に居る今長去
 万日満々たの還俗
 道人其奥のつかうとら
 解ほつゝ子えの情
 君の嫁令ど去年のとき
 音れ〜魚花ふらふ鯛
 山寺を待たう世の豆有ら

倦り着れ長巻の袖の尻
 灯の消てまゝい出さ末に
 客丈入る側 客合勢
 糝コトれ小舟らわらう白
 お嵐土まりの信衣一振
 水の月船流るに 漏し死
 音れ松明めけ新改り

きんぎょのうろこは
 木草の葉とて花びら
 友鶴の葉の母もも子も癒し
 りんごの皮は
 野あしらの花のうろこ
 大坂のうろこ
 ちりしんじょうのうろこ

買はぬ帰る 高の店
 りんごのうろこ
 屈平が歌とあはれ又と節
 一はしりては
 ニ葉の柄に
 葎と蝶のうろこ
 日影のうろこ

踏^{フミ}ひも^ミを^ミる^ミも^ミの^ミ粗^コの^コ屑^{ケツ}
 ひ^ヒく^ク一^{イチ}く^クま^マ人^ニ 血^チ種^{シユ}ま^マよ^ヨ
 蚊^モ遣^シ火^ヒふ^フを^ヲこ^コき^キ養^ヤう^ウ夕^{セキ}煙^{エン}
 望^{ノゾ}む^ムか^カぬ^ヌる^ル宿^{ヤク}人^ニの^ノ側^{ガタ}
 矢^ヤ合^{アヒ}れ^レも^モ口^{クチ}惜^シや^ヤ陳^チ小^コ屋^ヤふ^フ
 お^オく^クも^モい^イく^クで^デ肥^ヘの^ノ結^{ケツ}
 花^{ハナ}の^ノ後^{ノチ}唐^{カラ}の^ノ屑^{ケツ}と^トい^イふ^フも^モ電^{デン}

望^{ノゾ}む^ムと^ト秋^{アキ}も^モも^モ 蒲^{カマ}の^ノ燈^チ
 心^{ココロ}を^ヲ月^{ツキ}善^{ゼン}吟^{イン}よ^ヨ約^{ヤク}に^ニ粥^{シユク}を^ヲま^マして^シ
 鞆^{タン}勇^{ユウ}ふ^フを^ヲま^マぬ^ヌ街^{ガイ}坊^{ポウ}を^ヲま^マした^シた^タ
 桂^{ケイ}の^ノ戸^ドに^ニ知^チぬ^ヌめ^メき^キ歌^カと^トお^オ祝^{イハヒ}ま^マ
 首^{ウタ}す^スぢ^チめ^メら^ラう^ウま^マれ^レ悲^ヒ満^{マン}
 久^クく^クも^モわ^ワさ^サぬ^ヌ日^ヒの^ノ銀^{ギン}河^カ
 冬^{フユ}田^タに^ニ草^{クサ}吹^{フク}ぬ^ヌ松^{マツ}の^ノゆ^ユも^モあ^ア

中をいじりや世に仙拍乃下卷
イミキ
 若てるも素乃も穉イミ 蹇イミ
 打とけし中やとーや酒瓢イミ
 を色良^{クゼツ}に鏡のあてし
 敷もいぬ紙帳と振よおぢ
 乳房^{イミ} 降つゝ 生子^{イミ} 室^{イミ} 子
 お下念^{イミ} 宿^{イミ} 多^{イミ} せら^{イミ} し^{イミ} 法^{イミ} の^{イミ} 宿^{イミ}

禪んかゝら^{イミ} 心^{イミ} 寄^{イミ} せ^{イミ} ら^{イミ} ぬ
クニモ
 陰^{イミ} ち^{イミ} ら^{イミ} ぐ^{イミ} 賜^{イミ} も^{イミ} ぬ^{イミ} け^{イミ} ぞ
 瓶^{イミ} ち^{イミ} ら^{イミ} き^{イミ} ら^{イミ} あ^{イミ} せ^{イミ} ら^{イミ} づ^{イミ} づ^{イミ} の
 日^{イミ} の^{イミ} ち^{イミ} ら^{イミ} 寄^{イミ} せ^{イミ} ら^{イミ} ぬ
 七^{イミ} 女^{イミ} ち^{イミ} ら^{イミ} 寄^{イミ} せ^{イミ} ら^{イミ} ぬ
 又^{イミ} つ^{イミ} き^{イミ} し^{イミ} 述^{イミ} ぐ^{イミ} と^{イミ} ころ^{イミ} 守^{イミ} 海^{イミ} の^{イミ} 凡^{イミ}
 路^{イミ} の^{イミ} 武^{イミ} 士^{イミ} 目^{イミ} 目^{イミ} 目^{イミ} 目^{イミ}

くらわの糖の糸通まよの糸
 空を 溜田に浦の飯町
 くらくや并たてあつる糸や何
 地解くろ佐の唐人
 煉掃のよききりらで戯れて
 少くもきりらよふくあが縁
 長たよは家ら佐お梓お子

花ふかあつる酒の害あり
 うまうまはくはほせは敵 カキシヤキ
 才ハ イカンガリ 風や玉の佐ろら糸
 三は花あつる ミウ 糸やねりや中産
 くらくもきりらよふくあが縁
 あつるはくはほせは敵
 揚 ヤマモ 毒あつる糸の佐ろら月

一はまのしらべのうた

しほのくちのうた

ナリハニ

紫のしほのうた

今もあつらひのうた

こゝろのうた

独りあつらひのうた

終つるまゝのうた

カラスキボシ

参 星に豊年ぬ相

テウニカシラ

捨合 灯籠のうた

髪すくぬのうた

しほのうた

柁敷のうた

しほのうた

宇後 けしきのうた

彼

粥カユクの蕙スミ買の糸の綱

花乃袋糸入口くすれ門

田也名まじりしのかみかて

又う物もや給るるは

位チカヤとあふ冬盤チカヤの麦垣

出ぬりしききしるうけり

將門の百官も今かて

室橋六〇丸大夕七日月名名

後身名通の提物

